

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 笹野義春
 幹事 佐久間良治
 会報・雑誌委員長 舎人経昭

No. 8

人類が私たちの仕事 MANKIND IS OUR BUSINESS

2001～2002年度 RI会長 リチャードD・キング

きょうの例会

第916回 平成13年 9月 11日(火)
 ガバナー補佐訪問

水野賀績ガバナー補佐紹介



生年月日 昭和9年10月5日
 所属クラブ 名古屋千種ロータリークラブ
 職業分類 シニア・アクティブ(建設業)
 事業所住所 〒464-0850
 名古屋市千種区今池5-8-12
 水野建設株式会社 代表取締役社長

ロータリー歴 1982年 名古屋千種RC入会
 (チャーターメンバー)
 1984年～85年度 副幹事
 1987年～88年度 社会奉仕委員長
 1992年～93年度 副会長
 1994年～95年度 会長

先週の記録

第915回 平成13年 9月 4日(火) 曇り

◆“君が代” “それでこそロータリー”

◆出席報告

会員 70(63)名 出席 50名
 出席率 79.37%
 前々回 8月21日 (修正出席率) 96.88%

◆ビジター紹介

全国起業家集団日本クラブ 会長 篠田 喜作氏
 (岐阜長良川IRC会員)

◆ゲスト紹介

名古屋名城ローターアクトクラブ 会長 吉村 剛信君

佐久間幹事報告

1. 次回例会はガバナー補佐訪問です。尚、11時30分より懇談会、例会終了後はクラブ協議会を開催致しますので、担当の方はクラブ計画書をご持参頂き、ご出席をお願い致します。
2. 定款が改正されましたのでお知らせ申し上げます。

名古屋名城RAC吉村剛信会長挨拶



本日は千種ロータリークラブ様の例会にお招き頂き有難うございます。

本年度のクラブ方針は、「Museum of Actors～新しい色との出会い～」です。少し説明させていただきますと、当クラブは創立7周年目を迎えるとしており、他クラブに比べてまだまだ歴史による重み、伝統はないですが、新しいからこそ出せるカラーを心掛け、いつまでも決して失う事無く初心を忘れず輝き続けることを目標としています。昨年度に至っては、アクターにとって、最高の称号であります最優秀クラブ賞を頂いたなど、心の財産を築いてきました。しかしながら、激動の社会を生きる私達が、過去を振り返り停滞している訳にはいきません。より良いアクト、より魅力あるクラブ作り等、言葉だけでは言い表せない意味を込めて、この様な会長方針を立てました。真の意味は1年後に、全員で築き上げた財産となればと思います。

現在当クラブは40名の非常に力強い会員ばかりで

すが、会員減少方向にあるのも現実です。私共アクター自身で会員増強に広報活動は勿論ですが、ロータリアン様の子弟、企業派遣といった形でのより多くの紹介を尚一層宜しく願います。

最後になりますが、本年度も今までと変わらぬ御指導、御鞭撻のほど宜しく願い申し上げます。

笹野会長挨拶

先日、新宿歌舞伎町の雑居ビルで火災が発生し、44人も死亡するという大惨事が起こりました。犠牲になられた方々に哀悼の意を捧げたいと思います。

以前消防署に勤務していた者から、火災発生現場にもし遭遇した時は、まず濡れたタオル、あるいは布切れ等を水に浸し鼻や口に当てるか、直ぐにうつぶせになって煙を吸わないようにする。どんな大火災でも床上20センチは完全に煙は無く酸素が有るから顔を下につけるようにして落ち着きを取り戻してからゆっくり逃げるようにと教えてもらった事があります。

実際、15年位前に我社の隣が火事になった時、消火作業に当たった経験があります。煙でもうもうとしている中で座り腰で消火活動をして分かったのですが、床上20センチ位は煙一つ無く、きれいに透き通って見えました。一瞬、煙が凄く早さで顔面を覆ってきて苦しく窒息しそうになり急いで外に逃げましたが、もしあの時煙を吸っていたら今の私は此処にいなかったと思います。皆様もいつ、何処で、どんな事故に遭遇するかも知れませんので、くれぐれも用心して下さい。

◆講演

“運命を切り拓く企業家精神”

全国起業家集団日本クラブ 会長 篠田 喜作氏
(紹介 黒須さん)



愛知県碧南市ご出身の鈴木清一さんは戦後これから蠟燭ではダメだと言うことでワックスメーカーに転向。非常に熱心に良いワックスを開発し積極的に経営され、昭和20年代中間には日本を代表するほどのワックスメーカーに転換していたのですが、昭和30年代に入って、会社を東洋一の総合ケミカルメーカーに発展させたいということで、アメリカのユダヤ系の会社ジョンソンと折半の合弁会社になりました。

そして自分の持ち株を半分従業員に提供し、従業員にサラリーマン的に働くのではなく株主になり、オーナーの認識を持って頑張ってもらう制度を始めたのでありました。そして自ら社長となり6年間寝食を忘れ経営した結果、文字通り東洋一の総合ケミカルメーカーに発展したのでありますが、ジョンソンが従業員の株を3倍・5倍の株価で買い取って、昭和38年の株主総会で全体の75%の株式を握り、鈴木さんを追放したのであります。その時鈴木さんは52歳でありました。

次に雑巾を作って売ろうと思って紡績会社を10軒訪ねましたが誰も相手にしません。11軒目に訪ねた長谷トラ紡績はこの頃丸紅1本で年間20億円の商売をして、1日24時間を3交代のシフトを敷きフル操業してもまだ時々納期に遅れる状態の会社でありましたが、鈴木さんの熱心さに社長は即決し、ダスキンという会社を作ったのであります。ダスキンの会社は倍々に成長し、昭和51年3月決算には年商1千億粗利益55%の超一流会社に成長したのであります。紡績業界は当時構造不況の下真ん中にも拘わらず長谷トラ紡績は無借金で4割配当を継続していたのであり、鈴木さんが飛び込んで来て50万円の手形で生地を分けてくれと言った時、長谷社長は経理部長以下幹部社員に向かって、「これは社長命令だ」と言われたその決断なのです。当時長谷トラ紡績は絶好調時で、最も儲かっている時に社長決断、それに対し全従業員が全力投球して仕事をしてくれるかどうかです。世界で経済の成長している国(GNPがプラス)は僅かに11ヶ国です。そしてその殆どは日本を中心としたアジアニーズの国であり、国家の基盤に儒教の精神をもって生きた国です。儒教の精神は3つの大きな柱があり、1つは忠誠心、企業商売に対する忠誠心、創業者に対する忠誠心、伝統に対する忠誠心、恩人に対する忠誠心、第2番目は、伝統の尊重です。又創業者の言う事を素直に聞く事です。3番目は仁義です。仁は思いやり、義は天地の法則です。このように技術革新、情報、これに哲学、忠誠心、伝統、仁義、こういうものを大切にする商売、企業だけが生き残り、21世紀に向かって繁栄します。もう既にそういう時代に入っています。商売が大きい小さいは全く関係ありません。これからの10年間は一段と厳しくなる程チャンスがあるので、輝かしい伝統の精神と共に、新しい道を切り拓くだけの力を持っていかれるように心からお祈りして私の卓話を終わります。

◆ニコボックスは紙面の都合上、次回掲載と致します。

◆次回例会(9月18日) 友愛の日